

# 平成25年度第1回「仙北市立病院等改革推進計画」検証市民委員会

## 議 事 録

◆日 時 平成25年8月20日（火）13：33～14：33

◆場 所 田沢湖健康増進センター 地域交流プラザ

◆出席者 【委員】委員長他5名 合計6名  
【市】 両病院事務長等・医療局職員（事務局）

◆検証事項 1) 市立病院の平成24年度の決算状況について  
2) 仙北市立病院等改革推進計画の進捗状況について  
3) その他

\*\*\*\*\*

—委嘱状交付—

皆様、本日はお忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございました。会議を始める前に、委員の皆様へ委嘱状をお渡しいたしますので、よろしくお願いいたします。

～委嘱状を交付～

### 1. 開会（13：33）

### 2. 医療局長あいさつ

司会の方から話がありましたが、管理者は前の会議の時にお話ししたと思いますが、転倒して胸椎を骨折しました。お盆前に一度こちらに見えましたが、今日の会議には出席できないということで私の方からごあいさつさせていただきます。

今回任期が切れたということで、再度任命させていただきましたが、皆様にはこの改革推進計画当初から検証委員としてご参加いただいております。このあと計画としては25年度、今年度が計画の最終年度となっております。

今日は昨年度平成24年度の決算を中心とした検証ということでございますので、どうかよろしくお願いいたします。

### 3. 委員長及び委員長職務代理者の選任

### 4. 検証事項

委員長

それでは、直ちに会議を開きます。本日の出席委員は6名であります。一人遅れているよう

ですが、早速会議を始めたいと思います。すでに資料につきましては配布になっておりますので目を通していただいたと思います。詳細にわたっては説明を求めながら検証していただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

それでは資料の説明を求めます。

－資料説明（事務局・医療局）－

資料1 「平成24年度仙北市病院事業の総括事項」

資料2 「市立病院等改革推進計画の数値目標に対する実績」

資料3 「市立病院等改革推進計画【数値目標】」

資料4 「両病院年次別外来・入院患者数の推移」

資料5 「両病院地区別利用者数（外来・入院）の推移」

委員長

一括して説明してもらえませんか。

資料6 「市立病院等改革推進計画進捗状況」

資料7 「市立病院収支決算（過去3年分）」

委員長

資料に基づき説明をいただきました。委員の皆様からご質問あるいはご意見等お受けしながら、検証していただきたいと思います。質問ありませんか。

委員

経常損益等の部分で両病院とも非常に年々改善がなされてきてだいぶいい方向に向いて来ていると見ていますが、両病院を合算した目標でも赤字の見通しになっている。

医師不足や経費の問題があるかもしれませんが、少しでも努力して両病院を併せた目標値を黒字になるように出来ないでしょうか。

事務局（医療局）

目標値のお話しですが、平成21年3月に作った計画では、両病院合算で平成25年度の目標が3千9百万円の黒字となります。資料の3、4ページと5ページに各々の病院の分で記載していますが、25年度の見込みというのが計画の部分です。角館病院が1億4千5百万円の黒字、田沢湖病院が1億6百万円の赤字で両病院合わせて3千9百万円の黒字という計画になっております。

24年度の計画で両病院合わせて1億8千万円の赤字に対して、実績では9千5百万円の赤字です。

25年度計画の3千9百万円の黒字目標に対して半年過ぎようとしている状況ですが、全体としての黒字化は非常に厳しい状況にあります。個々の病院の目標に

については各病院から説明します。

事務長（角館総合病院）

25年度6月末の数字ですが、昨年度より若干落ちています。入院患者が若干減っていきまして、何とか目標に近づきたいということで今一生懸命やっているところです。

委員長

救急患者が角館に行った場合、医師の都合がつかなくてほかの病院に回った急患がいるようだが、医師不足と言えばそれまでですが、そこを何とか対応する方法があれば、もう少し数字的に変わってくるのではないのでしょうか。そう考えますがいかがでしょうか。

事務長（角館総合病院）

救急患者について、うちには循環器、心臓系、呼吸器系の常勤の医師がいないので、重篤な場合は転送せざるを得ない状況ですが、それ以外の場合はすべて受入れをしています。

転送する場合は日赤とか組合、平鹿病院などですが、秋田に転送される方が多いようです。重篤な患者で命に関わる場合は、1次の処理はしますが、それ以上の処置はできないので、すぐに転送という形にならざるを得ないと思っています。

事務長（田沢湖病院）

田沢湖病院から、経営改善についてお話しさせていただきます。この推進計画を作った段階での状況は、病床利用率が50%以下で半分を切っている状況でした。

そもそも国が推進計画を求めた所以は、病床利用率が70%に満たない病院については、病院としての存続は厳しいので、抜本的な体質の見直しをなささいと言うニュアンスが強かったので、この計画では70%を目標に作られています。

毎年70%でも1億円ちょっとの赤字はやむを得ないが、地域の病院を存続ということでこの推進計画でスタートしました。その目標をキープしていくためには、今現在運営している障がい者病棟をやらざるを得なかったという所に落ち着いたのがこの計画です。

ただご承知のように、この障がい者病棟というのは診療単価を見ていただければお分かりのとおり非常に低い訳で、スタッフにかかる経費等を考慮していくと、なかなか数値的に好転させるのは難しい形態です。したがって、この計画は計画として、現在は次年度以降どのような運営形態が望ましいのか、院長はじめ各部門の長で組織する管理者会議の中で継続審議をしているところです。

これについては、障がい者病棟云々というのはあくまでも田沢湖病院内の話になるわけですが、角館病院の新築も控えていることから、その辺は管理者、医療局を

中心にそれぞれの病院がどのような機能分担をすれば仙北市病院事業全体で経営が良くなるのか議論の場が必要だと思っています。

委員長

他に、ありませんか。

12ページの⑧、再編・ネットワーク化ということで、22年5月27日の市長と両病院長等会議にて本院・分院化の凍結を表明とありますが、本院・分院をなぜ出来ないのかあるいは本院・分院化した場合、この経営計画の数字に顕著に表れるのでしょうか。

事務局（医療局）

計画では、角館総合病院を本院、田沢湖病院を分院となっていますが、22年の時の市長の判断で、この本院・分院化については凍結するという事です。この意向について先月再度市長に聞いたところこの考えは変わっていない。市長の考えている両病院については、基本的に角館総合病院は急性期対応、田沢湖病院は慢性期対応という機能分担の中で両方を病院としてやっていく。本院・分院という考え方ではないと言っていた。この計画は今の門脇市長就任前に策定されたもので、その部分については現在の開設者である門脇市長の想いは、本院・分院という考え方ではないということでした。

これによる計画への反映の部分については、そこまで検証していないという状況です。

委員長

それから資料6、12ページの物流管理について来年の3月と言っていたが、これは薬局を市で建てるのか、薬を持ってくる業者が建てるのか。経費の問題について。

事務長（田沢湖病院）

院外薬局の件だと思いますが、これには病院が関与することは何ともありません。県知事の許認可事項ですので、どこかの業者が許可をもらって出すということであって、病院にかかる経費はありません。ただ病院としては、患者さんの利便性を考慮すれば少しでも近くにあっての方が良く、病院正面の空き地を候補地としている業者がいることは事実のようです。

事務長（角館総合病院）

物流管理の事ですが、こちらは病院で使う診療材料などを田沢湖病院と一緒に、共同で購入しようと今進めているところです。どうしても個々に買っているうちの方が大量に買っても田沢湖病院は少なく単価が高いという事がありますの

で、出来るだけ一緒に買って少しでも経費が削減出来ればと計画しています。

#### 委員長

市民にとっては、病院がなくなるとなれば大変なことになる。私個人的には多少の赤字があってもいいと思います。ただやはり市民に喜ばれる病院にならないと、そのあたりは努力していただきたいと思います。これは事務局だけでは出来ることではないでしょうが、みんなが一体なっていただきたいと思います。

他に、ありませんか。

#### 委員長職務代理者

角館病院、田沢湖病院以外の病院は、たとえば大曲や秋田の病院では黒字が多いのですか。赤字が多いのですか。

#### 事務長（角館総合病院）

まだ全県の決算の状況がすべて出ていませんが、先日田沢湖病院事務長と一緒に県南の自治体病院の事務長会議に出席して、昨年度の決算状況について各病院からいただいて見させてもらいました。

実際24年度の決算で自治体病院の中で黒字の所は2病院でした。規模の小さい羽後病院と大曲市民病院でこちらは特殊な病院です。あとは横手病院、大森病院、うちの方の両病院は赤字ということです。自治体病院としては黒字化をかなり頑張っているんですが、なかなか難しいという印象は受けています。

#### 事務長（田沢湖病院）

自治体病院のみならず秋田市や大曲界隈でというご質問でございますが、民間病院はほとんどペイから黒字です。診療所は別ですが、大きい厚生連病院の関係では赤字のところが多いですが、仙北組合だけは厚生連の稼ぎ頭でものすごい経営はいいところですよ。

しかし、全体とすれば自治体病院をはじめ、公的病院といわれるところはやっぱり赤字が多いのかなと思います。

#### 委員長職務代理者

訪問診療について最近よく耳にするが、田沢湖病院は結構前からやっているけれども以外とみんなは知らないでいる。

それから夕暮れ診療については、知り合いや友達から聞くととてもいい印象で、市民に伝わっているみたいだ。医師の負担や予算の関係、看護師の調整などがうまくいっているのですね。大変人気があるという感想を持っていました。

委員

利用者は多いですか。

事務長（田沢湖病院）

在宅に関してはみなし事業所ということで、正規のステーションではないのですが、出来る限りの支援をしています。そもそも院長が在宅の重要性を唱えており、高齢者の多い地域だけに看護師を2人配置して、オンコールがあれば土日、夜間でも出られる体制を取っています。

また、夕暮れ診療については、前にもお話ししたと思いますが、これまでは週1回秋田大学病院の先生にお願いしていた経緯がありますが、去年の10月から木曜日も1日増設しました。

これについては、当院の3人の医師が交代で担当し、患者さんの利便性はもとより経営面への配慮と救急の代替案として、先生方も親身に考えてくれて現在に至っています。自治体病院としての使命を認識しているつもりですので、今後も継続したいと考えています。

委員

診療科は関係なく、何科でも見てくれるのですか。

事務長（田沢湖病院）

基本的には診ますが、必要があれば他の医療機関へ紹介ということはありません。しかし、ほとんどが慢性期の患者さんですので、ほぼ当院で出来るという思いをしています。

委員長

他にありませんか。

委員

入院の障がい者というのは、認知症の方も障がい者の病棟に入っているのですか。先ほど障がい者病棟は点数が低いと言っていましたが、私たちは障がい者と言えば何となく別のイメージをしてしまうのですが。

課長補佐（田沢湖病院）

障がい者施設のうち、入院料で障がい者に認められる人の中に認知症の方は含まれません。認知症でも全く意識のない人であれば該当になりますが、意識のある認知症の方は該当になりません。

他には脳卒中と認知症が原因でない寝たきりの方は障がい者の該当になります。あとはパーキンソン等の難病の方です。

委員長

他にありませんか。

委員

ここでいうことではないような気がしますが、西木方面で羽後交通が運行なしになり、タクシーで頑張ってもらっていますが、使い勝手の面でなかなか慣れないところもあるかもしれませんが、いろんな話を聞きます。

実際病院に来たくてもこういう状態では行けないという話を聞く時もある、まるっきり課の違う話という気がしますが、何かいい方法がないものなのかと常々思っています。

その辺病院サイドからも提案、たとえば今あった訪問診療も一つの方法なのかとチラッと思ったのですが、それだけですべてをカバーするのは難しいと思いますし、経費の部分を見ると病院に来てもらった方が一番いいことだと思います。だから何かいい方法が、患者側サイドにとっても病院サイドにとってもお互いプラスになるような方法がないかなとずっと思っています。いい提案というか話がありましたら是非お願いしたいなという事です。答えは求めません。

委員長

私から申しあげることではないと思いますが、そういう方々は介護保険の要支援や要介護を持っているのでしょうか。持っているとすれば介護タクシーを使えばバスよりは安いと思います。バスは廃止になったのですが。

委員

もらっていない人のほうが多いと思います。比較的元気だけれども、でも足腰痛くてなかなかそこまで歩いて行くのが厳しい。

委員

国道というか道筋しか入っていかないの、そこまで行くのに難儀だという声がすごい。

事務局（医療局）

私が知っている範囲でお話ししますが、西木エリアだけではなくて、仙北市が出来てからの私の記憶ではバス路線が廃止になって一番先に入ったのが白岩エリアだと思います。

当時、私が企画政策課の時そこが所管でした。直接の担当ではありませんでしたが、路線バスよりは細かいところまで入っていくなど試行錯誤して、要望があればそちらに行き、ショートカットする場合もあるなど結構細かく地域の要望に応えた形で、デマンド型タクシーの路線設定はしたと思っています。それはその時だけで

はなく、その後も要望に従って、変更なり対応していました。

西木エリアについても、やっていると思います。ただ予約制なので、事前に前の日までに電話しなければいけない。ここがやっぱりちょっと取っつきにくいという苦情という話がありました。ただバス路線よりは細かく対応しているので、それでも喜んでくれる人もいましたが、元々バス路線の近くの人のかえって面倒くさくなったという話がありました。

さっきその場所行くのが難儀という話がありましたが、そういう要望が強ければ、路線というかルートの変更等には今も対応していると思います。

前のバス路線、旧105号しか走らなかったよりは、あちこちに入っていく。その分時間は長くなるということはあると思いますけれど。

#### 委員

朝病院に行く時は、決まった所じゃなきゃ乗ったり降りたり出来ないけれども、帰りは運転手さんのちょっとした優しさで、うちの近くでということもあるらしい。行く時は時間が決まっているけど、帰りはそれなりに自由な時間みたいで、ちょっと足を運んでもらって、うちの近くまで来てもらったということも聞いている。そういう融通も利かせてもらえばもうちょっと利用しやすい。

※乗り合いタクシーについては角館町内を除き、フリー降車区間となっていて、停留所間の路線上であれば、利用者はどこでも希望する場所で降りることが出来ます。運転手個人の判断ではありません。（企画政策課からの補足説明です。）

#### 事務局（医療局）

利用者がタクシー業者を通じてでもいいと思いますが、そういう要望が多ければ市の委託事業ですので、そのルートに変更するということも出来ると思います。

ただ定期路線ですので、バス停とはいわなくてもタクシーの停留所が決まっていなくて乗り合いという形ですので、なかなかこの家、この家という訳にはルー尔的には難しいみたいです。今言ったように帰りなら融通を利かせているのかもしれませんが、対応は出来る限りやっているはずだとは思いますが。

#### 委員長

そういう面では、小山田の方は道路もいいようですから、対応してもらっていると思います。ただ利用する患者さんがやっぱり自分で言った時間に出られない。そして自分で文句を言っている。そこなのです。やっぱり明日行くと言って10時なら10時にそこまで自分で行かなくてはいけない。それでもうちの方は道路が広いので、ちょっと走っていただければ、5分、3分なら対応していただいているようです。

委員

そんなにかもかもしれませんが、タクシー業者さんの方で、来るのを忘れていたらしいという実態もあったらしい。そんなに多くはないらしいのですが。

事務局（医療局）

それはちょっと問題外です。市の委託事業ですので、それは契約違反というか問題ですので、そういう事例が多いとすれば、更新時期には当然申し入れしないといけないと思います。

委員

どっちがいいのかわかりませんが、町内から西長野にかけて走っているスマイルバスというのはいいと思う気もするが、どうなのですか。

事務局（医療局）

田沢湖地区ではたっちゃんバスが走っていますが、たしか県の補助金があります。それは乗車密度とって1キロあたり何人乗るかというのがあって、低いと補助金がいらないうらと、補助金が出ない。見直しが今年か来年、県の制度が変わりたしか厳しくなるはず。距離が長くなると1キロあたりの乗っている人が少なくなるという話があって、バス対応の場合はある程度の人数を確保できない所では難しいみたいです。

西木エリアの105沿いがどうかというのは、わからないですけども、たしか切り替える時には、20人乗りのスクールバス程度のバスが走っていますので、実際それだけ乗るといことが基本的にあまりないというので、デマンド型のタクシーという選択肢になったと記憶しています。

今も10人乗りぐらいの大きなタクシーが行ったりしますか。

委員

大きいジャンボタクシーがたまには来ます。

委員

朝イチの早いのは普通のタクシーだし、7時8時台には大きいのが来ます。

事務局（医療局）

白岩に導入した時も、基本的にジャンボタクシーで、もしそれを超えた時は一般のタクシーと一緒に歩いて歩くというようなシステムを導入したはず。

委員

105の場合は凄く距離が長いから、戸沢まで行くとなると凄い。

事務局（医療局）

あちらこちらに寄っていくので、乗っている時間は相当長くなると思います。

委員長

他にありませんか。

事務局（医療局）

それに関連して、今角館病院の移転新築の話がありまして、ちょっと今の場所と代わる場所を想定しています。この路線バスの乗り入れ等について事業者の羽後交通やスマイルバスについて、乗り入れしてもらうように協議して参ります。

ただ、具体的にまだこちらの方がはっきりしていないので、それに合わせた形でという事はいろんな会議の中でも要望がありますので、それは対応して行きたいと進めてはいます。

事務長（角館総合病院）

いずれ乗り入れに関しても、様々に利用しやすい時間帯について、うちのほうでも希望は出していこうと思っています。駅を通過して、駅から来る患者さんに乗せてきてもらえるような時間帯に運行してもらえるように要望としていきたいと思っています。

駅からはちょっと離れますけれども、当然内陸線や田沢湖線で来られる方もいますので、その時間に乗ってもらえるようなバスの路線の時間帯を想定してもらうように、向こうの事業所にはお願いするつもりであります。

委員長

他にありませんか。

委員

今回の災害の時は、全部角館の方に運ばれたのですか。近くなので田沢湖病院に運ばれたのではないかと思ったのですが。

事務長（角館総合病院）

今回の重篤な患者が1名いましたが、田沢湖病院で対応しました。やはり近い所ということで、田沢湖病院に頑張ってもらって、足を骨折した方と軽傷の方2人いましたが、そちらはうちの病院に搬送して、うちの方で処置して、入院もしくは経過入院してすぐ退院された方がいますが、重篤な方はすべて田沢湖病院で対応しました。

委員長

他にありませんか。検証事項につきましては概ね質問が出たようですが、ここで締め切ってもいかがでしょうか。

次第の3にその他ということがありますが、お願いしたいと思います。

事務局（医療局）

こちらからは特別準備はしていません。

委員長

その他ということで、委員の皆様から何かありませんか。ありましたらひとつ出していただきたいと思います。

委員

新病院の計画はどこまで進んでいますか。あまり進んでいないと聞きましたが。

事務長（角館総合病院）

現在、基本設計を実施して、9月末の契約期限でやっています。様々な市民の方とか議会の方の意見を取り入れながら進めていますが、それを終了した後には実施設計に入ります。病院については様々な手続きがありそういうものがすんでから用地の購入とか様々なことに入りたいなと思って、今一生懸命進めている所です。

委員

最初の計画では、大曲の組合病院と同じ時期にやるという話を聞いていたが。

事務長（角館総合病院）

当初の計画では大曲の組合病院と同じ頃ということでしたけれども、昨年市長が1年延期するということで、27年秋に1年延長になっています。それに向けては、今順調に進んでいます。

委員

新しい病院は、患者にとって使い勝手のいい利用のしやすい病院にしてもらえばと思います。なんかすごく車いすが目立つのですよね。角館は狭くて行き来するのもかわいそうで、もうちょっとゆっくりした病院にしてほしいと思います。

事務長（角館総合病院）

正面玄関も広く取りますし、できればそういう方々の専用の入り口を設けたいなと今計画しています。障がい者、車いすの方が楽に出入りできる、車ですぐ横付けできることも今計画しています。

委員

1日いっぱい終わるまで座りっぱなしで、足を下ろせばなしがつらいみたいで、疲れた疲れたと言っている。なんかそういう配慮もちょっとはしてもらえばと思います。

事務長（角館総合病院）

待合室等も広くなる予定ですので、今のような窮屈な形で待つことのないように配慮していきますので、よろしく願いいたします。

委員長

他に、ありませんか。ないようですので、これで終わってもよろしいでしょうか。皆様のご協力により、以外と早く終わることが出来ました。どうも本日はありがとうございました。ご苦労様でした。

（終了14：33）